



# やまぼうし



神石高原中学校 学校だより No. 10

平成29年2月1日

## 世界に目を向けよう！！1月20日(土)アメリカ:トランプ大統領が就任しました。

◎トランプ大統領の就任演説の最後の部分を英語と日本語で読んでみよう。

So to all Americans, in every city near and far, small and large, from mountain to mountain, from ocean to ocean, hear these words: You will never be ignored again. Your voice, your hopes, and your dreams will define our American destiny. And your courage and goodness and love will forever guide us along the way.

Together, we will make America strong again. We will make America wealthy again. We will make America proud again. We will make America safe again. And, yes, together, we will make America great again. [全てのアメリカ国民の皆さん。皆さんの住んでいる町が近くても遠くでも、小さくても大きくても、山や海に囲まれていても、次の言葉を聞いてほしいのです。皆さんは二度と無視されるようなことはありません。皆さんの声、希望、夢が私たちアメリカの運命を決めるのです。皆さんの勇気、優しさ、愛が私たちを永遠に導いてくれるのです。みんなでアメリカをもう一度強くしましょう。アメリカをもう一度豊かな国にしましょう。アメリカをもう一度誇り高さものにしましょう。アメリカをもう一度安全な国にしましょう。そしてみんなの力でアメリカをもう一度偉大な国にしましょう。] ※比較的やさしい英語なので英文も載せました。

◎次に2009年1月19日に行われたオバマ大統領の就任演説の最後の部分を読んでみよう。オバマ大統領の演説は難しい英語なので日本語だけにします。[アメリカよ。私たち自身が、いろいろな困難に立ち向かっている時、すなわち私たち自身の今のこのような厳しい冬の時代に、時を超えた次のこれらの言葉を思い出しましょう。私たちは希望と美徳を携え、再び凍てついた流れに立ち向かい、どんな嵐の訪れにも耐えていきましょう。私たちの子どもたちの子どもたちにこう言われるようになりましょう。「私たちが本当に信念を持っているのかと試された時、私たちはこの旅を終わらせることをよしとせず、後戻りすることもくじけることもなかった。地平線をしっかりと見つめ、神の慈しみを受けながら、私たちは自由という偉大な贈り物を携え、未来の世代に無事に届けることができました。」と。] 任期末のオバマ大統領は「自由」を「核なき世界」としたかったのかもしれない。

◎さらに2017年1月20日(金)に行われた安倍晋三首相の施政方針演説の最後の部分を読んでみよう。[子や孫のため、未来を開く。土佐湾でハマグリ(ハマグリ)の養殖を始めたのは、江戸時代、土佐藩の重臣、野中兼山(のなかけんざん)だったと言われています。こうした言い伝えがあります。「おいしいハマグリを、江戸から、土佐に持ち帰る」兼山の知らせを受け、港では大勢の人が待ち構えていました。しかし、到着するや否や、兼山は、船いっぱいのハマグリを全部海に投げ入れてしまった。ハマグリを口にできず、文句をいう人たちを前に、兼山はこう語ったと言います。「このハマグリは、末代までの土産である。子たち、孫たちにも、味わってもらいたい」兼山のハマグリは、土佐の海に定着しました。そして350年の時を経た今も、高知の人々に大きな恵みをもたらしている。まさに「未来を開く」行動でありました。未来は変えられる。全ては、私たちの行動にかかっています。]

細かい部分については読みとれませんが3人のリーダーが、どのように国を導いていきたいのか、中学生の皆さんにも読みとれると思います。オバマ大統領の任期は終わりましたが、トランプ大統領、安倍首相がどのように国を導いていくか、私たちも自分のこととして考えながら興味関心をもってしっかりと見ていきたいと思います。

## 行事計画2月

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水	PTAあいさつ運動	16	木	道徳参観日・学級懇談 寮保護者会
2	木		17	金	1・2年学年末試験発表
3	金	新入生入学説明会 公立選抜(I)・連携型入試	18	土	
4	土	(部活あり)	19	日	(英検3回目2次試験日)
5	日		20	月	
6	月		21	火	
7	火		22	水	
8	水	●2年生修学旅行	23	木	
9	木	●	24	金	●1・2年学年末試験
10	金	●(帰着予定20:10)	25	土	
11	土	<建国記念の日> (部活あり)	26	日	
12	日		27	月	●
13	月	集金日 PTA広報部会	28	火	● スクールカウンセラー相談日
14	火	スクールカウンセラー相談日	※3月の主な行事 3月3日(金):高原寮親睦会		
15	水		3月10日(金):第3回卒業式 3月24日(金)修了式・離任式		



◎スキー合宿無事終わることができました。昨年は雪不足のため中止となりましたが、今年は計画したかのように直前に大雪が降り、おかげで一年生は充実した時を過ごすことができました。昨年の芸北での事故で、インストラクターの人数を増やしたり、いろいろと気をつかいましたが、何より生徒一人ひとりがルールをしっかり守り、集団としても一段階成長し、それぞれが充実した顔で帰ってきてくれたのでほっとしました。

◎2月8日9日10日と2年生は沖縄へ修学旅行に出かけます。2年生は昨年スキー合宿中止ということで残念でしたが、その分修学旅行で楽しんできてほしいと思います。

◎神石高原中学校のグラウンドにドクターヘリが！！1月23日(月)油木の町道からミキサ車が転落した事故で、負傷された方を救出・病院へ搬送するためドクターヘリ2機がグラウンドに着陸しました。1機は広島西飛行場(観音)から、もう一機は川崎医大(倉敷)から来たのだそうです。パイロットの方によると、広島西飛行場から30分弱で来れるのだそうです。着陸後すぐにヘリに乗っていた2人の医師が急いで車で現地に向かわれました。救出は困難を極めたらしく、かなりの時間がたって救急車が到着し、負傷された方を乗せ飛び立っていきました。一連の救出に関わった人々を見るにつけ、命の重みを改めて強く感じるのと同時に、従事している人々の責任感とその仕事の重みを強く感じる事ができました。翌24日の新聞を見ると、2名の男性がけがをしたと報じられていました。このわずか一行の結果の裏には、何人もの人々が吹雪の山の中で一刻を争いながら懸命に救助活動にあたられた現実があったことを、私たちは感じ取らなければならないのだと強く思いました。負傷されたお二人の命に別状がなかったこと本当によかったと思います。生徒たちもこの一連の動きを見ましたが、「命を救う、こういった仕事に自分は就きたい」と感じてくれる生徒がいてくれたならと思う貴重な体験でした。

